別紙2

平成26年度実施施策に係る政策評価書

(環境省26-4))

					\坏.	現1920 — (4)	
施策名	目標1-4 市場メカニズムを活用した海外における地球温暖化対策の推進						
施策の概要	途上国において優れた低炭素技術等の普及促進や対策実施を通じ、我が国の排出削減・吸収への貢献を適切に評価する二国間クレジット制度(JCM)を推進し、我が国の温室効果ガス排出削減の目標達成に活用する。 2016年度までにJCM署名国を16か国に増やすことを目指し、関係国との協議を加速していく。						
達成すべき目標							
	区分		24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の 状況 (百万 円)	当初予算(a)	7,766	9,949	16,297	15,980	
施策の予算額・執行額等		補正予算(b)	0	0	0		
旭東の「昇銀・執1」銀守		繰越し等(c)	3,031	▲ 455	(※記入は任意)		
		合計(a+b+c)	10,797	9,494	(※記入は任意)		
	執行額(百万円)		7,325	8,152	(※記入は任意)		
施策に関係する内閣の重 要政策(施政方針演説等 ・経済財政運営と改革の基本方針 のうち主なもの)・日本再興戦略							

	JCMパートナー国数	基準値	実績値				目標値	達成	
701 (*) +K-1		25年度	26年度	27年度	年度	年度	年度	28年度	
測定指標		8か国 (累積10)	2か国 (累積12)	2か国 (累積14)				累積16か国	0
	年度ごとの目標値		-		-	_	_		

評価結果	目標達成度合いの 測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり			
		平成27年7月時点で、JCMパートナー国は14か国。 (判断根拠) その他複数の国と協議を進めており、「平成28年までに16か国」の目標は達 成する見込み。			
	i 施策の分析	〇攻めの地球温暖化外交戦略(H25年11月発表(外務省、経済産業省、環境省))及び日本再興戦略に位置付けられている通り、平成28年までにJCMパートナー国数を16か国まで増やすことを目標に途上国との協議を実施している。 〇また、JCMの下でのプロジェクト実施に当たっては、平成27年7月時点で12か国で計41件のJCM資金支援事業を実施中であり、うち既に3か国との間で6件がJCMプロジェクトが登録済みである。			
	次期目標等への反映の方向性	〇約束草案(政府原案)において、「JCMにより、2030年度までの累積で5,000万から1億t-CO2の国際的な排出削減・吸収量が見込まれる」とされており、これに向けJCMを活用した排出削減・吸収プロジェクトの実施を推進する。 OJCM資金支援事業を通じたGHG排出削減・吸収量を測定指標とした次期目標の検討を行う。			

学識経験を 見の活用	する者の知
7007/11/11	

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報

担当部局名 地球環境局 市場メカニズム室	作成責任者名 (※記入は任意)	政策評価実施時期	2015年6月
----------------------	--------------------	----------	---------